

いじめ防止対策プログラム 全体計画

川西小学校

- 基本理念
 - ① 学校の内外を問わず、いじめが行われなくなるようにする。
 - ② いじめの影響や問題について、児童生徒が理解を深められるようにする。
 - ③ 学校、家庭、地域、関係機関との連携のもと、いじめの問題を克服することを目指す。
- 基本目標

いじめ等の命にかかわる問題の未然防止に積極的に取り組み、児童一人一人の自己有用感を育み、規範意識を高め、いじめを許さない集団づくりを目指す。
- 行動目標
 - ① 職員会議等において共通理解を図るとともに、「チーム学校」として組織的な推進体制を充実させる。また、研修を通して教職員等の資質向上に努める。
 - ② いじめ問題等の未然防止に向けた取組を推進する。
 - ③ いじめ問題等の早期発見・早期対応に向けた取組を推進する。
 - ④ いじめ問題等の解決を図るため、関係機関と連携した取組を推進する。
 - ⑤ 学校運営協議会で学校の取組状況を確認する。

□基本構想

職員研修・職員会議等・家庭地域啓発等	<ul style="list-style-type: none"> ① 職員会議で、指導方針、全体計画、年間計画の共通理解を図る。 ② ユニット校長会を実施し、学校間の連携を図る。 ③ PDCA サイクルにより、いじめ・不登校対策委員会にていじめ対策の検証を行う。 ④ 必要に応じて、いじめ・不登校対策委員会を開催する。 ⑤ 実践推進部会（生活）を年6回実施する。 ⑥ 「学校いじめ防止基本方針」を家庭・地域に公開し、啓発を図る。 ⑦ 年に2回は、「心の相談アンケート」と「アセス」を併用した結果についての検証委員会を開催する。 ⑧ 必要に応じて、職員会議、打ち合わせ等で共通理解の場を持ち、同一指導を大切に協働体制の構築、組織力の向上を目指す。
未然防止に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 「居場所づくり」を重視した学級経営に取り組む。 ② 学級開きの際、担任から「いじめを許さない宣言」を行う。 ③ 「絆づくり」を通して、「自己有用感」を育む学校行事を計画し実施する。（川西フェスティバル・ぬくもり発表会・大縄大会・運動会など） ④ 4月に「いじめ」を題材とした全校一斉道徳授業を実施する。 ⑤ 9月を「いじめ防止啓発月間」とし、全校生で生活目標を斉読する。 ⑥ 5月に児童が「いじめ防止標語」を考え、心の啓発を促す。 ⑦ 「特別の教科 道徳」では「考え、議論する道徳」への質的転換を目指し、主体的に判断できる道徳的实践力を養う。
早期発見・早期対応に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 「学校生活に関するアンケート（アセス）」を年2回実施し、対応策・支援策を検討し確実に実施する。 ② 「心の相談アンケート」「心のアンケート」および全校児童を対象とした個人面談を年2回実施し、子どもの実態を把握する。 ③ 家庭訪問や学級懇談会、保護者面談を実施し、家庭との連携の充実を図る。 ④ 些細なトラブルであっても、心身に苦痛を感じていれば、いじめと認知し、直ちに組織的な対応を図る。 ⑤ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーとの連携・協働 ⑥ 「自殺予防リーフレット」を活用し、児童の SOS の出し方等に関する授業を実施する